



クズザンポーラ！（ゾンカ語；こんにちは）寒く厳しい冬が過ぎ、ブータンにも桃の花咲き乱れる春がやってきました。2月はブータンでは新学期，ということで今回はブータンの学校についてお伝えしたいと思います。

平成26年2月～平成26年4月の出来事

● ブータンの学校 ●

ブータンの学校は次のような仕組みになっています。



ブータンでの呼び名	クラス	日本での呼び名
Primary School	Class P. P. ～Class6	幼稚園～小学校
Lower Secondary School	Class P. P. ～Class 8	～中学校
Middle Secondary School	Class P. P. ～Class10	～中学校
Higher Secondary School	Class P. P. ～Class12	～高等学校

ブータンで言う「Class(クラス)」とは、学年のこと。Class 1は日本で言う小学校1年生で、Class12は高校3年生にあたります。そして、なんとブータンでは、**幼稚園から留年**があります。そのため、ひとつの学年にさまざまな年齢の生徒が混在しているのもブータンの学校の特徴です。だから、年に2回の定期試験のときは、みんな必死で勉強しています。

そして、ブータンでは幼稚園からほぼすべての授業が英語で行われます。英語が苦手だと、大変苦勞をすることになります。



● フータンの大学 ●

ブータンには王立ブータン大学の傘下のもと、医療・薬学・商業・教育・工学・農学・文学などの11のカレッジがあります。高校から先の進路は、成績順に学校が決めるため、個人の希望は通りません。留年も多く、最終的に落第するとほぼ就職もできません。学校での成績が人生を大きく左右すると言っても過言ではないのです。

これらの大学のうち、これまでに4つの大学を訪問させていただく機会がありましたので、ここで紹介させていただきます。

プナカ県、ブータン農業大学は私の任地でもあります。ここには4つの学科があり、430人ほどの学生が学んでいます。



チュカ県（ゲドゥ）ブータン商業大学には3つの学科があり、1500人ほどの学生が学んでいます。辺りの丘一帯がキャンパスという広大な大学です。



Royal University of Bhutan



タシガン県シェラブツェ大学は、ブータントップクラスの大学です。ここでは1300人ほどの学生が学んでおり、主に行政に関わる仕事に就職します。



チュカ県（プンツォリン）ブータン工業大学には3つの学科があり、650人ほどの学生が学んでいます。近くにはブータン唯一の工業地帯があります。



現在、私はブータン農業大学で農学科と畜産科の学生を対象に食品科学の授業を担当しています。食品科学の授業では、座学と合わせて実習も行います。中和滴定実験などの実験と、リンゴジャムやザウアークラウトなど、ブータンで生産されている農作物を利用した加工実習を実施しています。ちなみに、わたしのクラスの生徒の平均年齢は38歳です。大学には、農政局など、現場で働いている人たちが学位を取りにやってきているのです。